



王子製袋株式会社

会社案内



王子製袋は2020年、前身である林商会の創業から100年、有恒(ゆうこう)製袋の創業から90年の節目を迎えました。

創業の年1920(大正9)年は、第一次世界大戦の好景気から一転し、戦後恐慌が発生した苦難の年でもありました。

創業100周年を迎えた会社企業は、日本にも多く存在しますが、決して常に順風満帆の歴史を歩んで来た会社ばかりではありません。

王子製袋もこの1世紀の間事業を続ける中で、先人達が多く知恵を絞り、柔軟な発想で、幾多の苦難を乗り越えてまいりました。先人の足跡を学びながら、未来に向けて着実に前進をしてゆく、それが今何より当社にとって大切なことと考えています。

今般、創業100周年を迎えるに際して、当社は記念スローガンを

「ありがとう を包んで1世紀」

といたしました。

創業以来、お客様の大切な製品を包装し、社会生活へ供給する大事な役割を果たす中、常に「ありがとう」の気持ちを大切にまいりました。

時代はどんどん変化しており、その変化に対応できる者だけが生き残ることができる今、お客様のみならず、我々を取り巻く多くの皆様の、小さな「必要(ニーズ)」をしっかりと捉え、製品にして世の中に提供し貢献してゆく、そんな会社であり続けたいと思っています。

これからも たくさんの「ありがとう」との出会いを目指して。

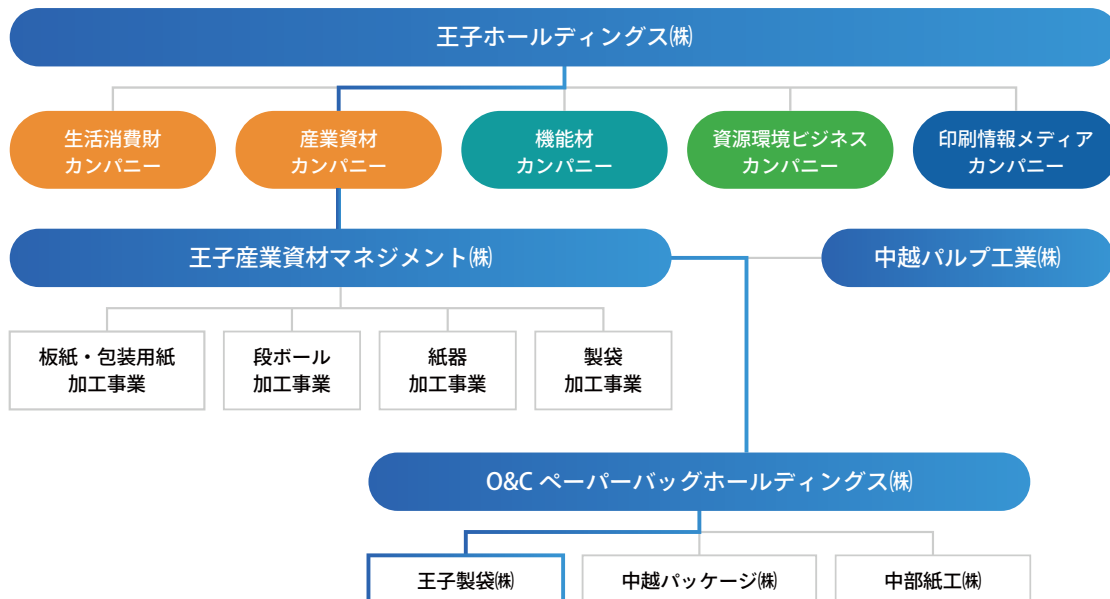
会社概要

商号	王子製袋株式会社
所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座五丁目12番8号 王子ホールディングス1号館
創業	1920(大正9)年10月
設立	1948(昭和23)年11月1日
株主	O&Cペーパーバッグホールディングス(株) 出資(王子産業資材マネジメント(株):55% 中越パルプ工業(株):45%)
代表取締役社長 (2021年4月現在)	新藤 恵悟
主な事業内容	・ 紙類を原料とする袋および加工製品の製造・加工ならびに売買 ・ 合成樹脂を原料とする袋および加工製品の製造・加工ならびに売買 ・ 紙および合成樹脂の売買 ・ 不動産事業

グループ組織図(抜粋)

王子グループは国内における洋紙生産のパイオニアとして、その技術と品質を確立してきました。王子ホールディングス株式会社を中心として「革新的価値の創造」「未来と世界への貢献」「環境・社会との共生」を経営理念に掲げ、社会や暮らしに不可欠な紙を安定供給するとともに、経営改革や技術開発に努め、事業を通してより豊かな社会生活の実現を目指してさまざまな分野で事業活動を行っています。

王子製袋株式会社は王子グループの製袋事業の中核として、100年培った技術と品質で皆様の生活になくはない「包装」と「物流」を通じて他のカンパニー企業と共に相互連携を図りながら豊かな社会の実現に寄与しています。



沿革

1920年	林友吉、林商会創立。紙袋の製造販売を開始
1925年	林商会、日本最初のベーツ式セメント紙袋を製造
1930年	安井忠二郎、安井有恒堂創立
1948年	有恒、有恒紙業株式会社を有恒製袋株式会社に変更
1963年	王子製紙株式会社、有恒製袋株式会社に資本参加
1967年	株式会社林商会と有恒製袋株式会社、合併に調印
1968年	林・有恒株式会社設立
1974年	王子製袋株式会社設立
1983年	埼玉工場新設
1993年	エコ・フォーム製造設備完成(有限会社須賀製作所内)販売開始
1995年	中国合弁事業契約調印式
2002年	王子製紙株式会社より事業移管を受けダンパック事業開始
2003年	九州工場移設
2005年	ダンパック江戸川工場開設 王子包装(上海)有限公司設立 王子鯨岡製袋株式会社を設立(2021年 8月より北海道王子製袋株式会社)
2008年	株式会社ヘビーデューティ・バッグ・パートナーズを設立
2012年	純粋持株会社制に王子製紙株式会社が移行し、商号を「王子ホールディングス株式会社」と変更 株式会社補見製袋所を子会社とする
2013年	王子パックスパートナーズ株式会社の100%子会社となる(現在の王子産業資材マネジメント株式会社)
2014年	上海東王子包装有限公司が王子包装(上海)有限公司敷地内に移転し、事業統合
2016年	O&Cペーパーバッグホールディングス株式会社設立 同社の100%子会社となる(増資実施)

わたしたちは王子グループ及び関連企業のグループ力を集結し、日々よりよい製品づくりに努めています。

グループ紹介

- 王子ホールディングス株式会社
- O&Cペーパーバッグホールディングス株式会社
 - 中越パッケージ株式会社
 - 中部紙工株式会社
- 北海道王子製袋株式会社
- 王子包装(上海)有限公司
- 株式会社楠見製袋所

- 王子アドバ株式会社
- 王子インターパック株式会社
- 王子コンテナ株式会社
- 王子製紙株式会社
- 王子製紙(中国)管理公司
- 王子ネピア株式会社
- 王子パッケージング株式会社
- 王子物流株式会社
- 王子マテリア株式会社
- 本州リーム株式会社
- 森紙業グループ

その他複数社

全国に展開する生産ネットワークで、あらゆる地域のニーズに対応します。

生産拠点

環境にやさしい多種多様な包装資材をお届けしています。

当社は全国各地に生産拠点を設置。クラフト重包装紙袋をはじめ、環境配慮型緩衝材および建築用断熱材など、あらゆる包装資材のニーズにお応えしています。また、ISO9001の認証取得を推進。万全の品質管理体制とともに、原材料調達から生産工程、製品まで、すべて環境を考えた生産体制を整えています。



岩見沢工場

〒069-0365
北海道岩見沢市上幌向町559-15
TEL(0126)26-2311 FAX(0126)26-4136



秋田工場

〒010-0975
秋田県秋田市八橋字下八橋191-4
TEL(018)823-6257 FAX(018)862-5214



仙台工場

〒989-2383
宮城県亶理郡亶理町逢隈田沢字神明54-2
TEL(0223)34-1151 FAX(0223)34-1153



埼玉工場

〒367-0104
埼玉県児玉郡美里町大字根木字向居246
TEL(0495)76-2661 FAX(0495)76-2667



江戸川工場

〒133-8511
東京都江戸川区東篠崎2-3-2 王子マテリア㈱江戸川工場内
TEL(03)5636-5611 FAX(03)5636-5615



九州工場

〒800-0231
福岡県北九州市小倉南区大字朽網3914-38
TEL(093)474-0661 FAX(093)474-0660



摂津事業所

〒566-0042
大阪府摂津市東別府1-1-3
TEL(06)4862-8864 FAX(06)4862-8865



摂津事業所(第二支所)

〒566-0052
大阪府摂津市鳥飼本町5-11-9
TEL(072)697-8600 FAX(072)697-8611



摂津事業所(高岡支所)

〒933-0351
富山県高岡市四日市133-7
TEL0766-92-2220 FAX 0766-92-2221



株式会社楠見製袋所

〒299-0057
千葉県市原市五井金杉3-3
TEL(0436)22-6292 FAX(0436)22-3649



北海道王子製袋株式会社

〒067-0051
北海道江別市工栄町24-1
TEL(011)382-4511 FAX(011)385-3856



王子包装(上海)有限公司

中華人民共和国 上海市青浦区勝利路1818号
TEL+86-21-6922-5881 FAX+86-21-6922-5882

株式会社ヘビーデューティ・バッグ・パートナーズ

〒111-8522
東京都台東区元浅草2-6-7 日本マタイ(株)内
TEL(03)3843-5811 FAX(03)3843-5819

| 事務所一覧

本社

〒104-0061 東京都中央区銀座五丁目12番8号
王子ホールディングス1号館
TEL(03)5550-2850 FAX(03)5550-0451

安全衛生管理室
環境・品質管理室
業務本部
総務人事部
業務部
生産本部
技術部
営業本部
本社営業部・営業企画部
ダンパック販売部

TEL(03)5550-2852 FAX(03)5550-0452
TEL(03)5550-2852 FAX(03)5550-0452
TEL(03)5550-2850 FAX(03)5550-0451
TEL(03)5550-2851 FAX(03)5550-0451
TEL(03)5550-2852 FAX(03)5550-0452
TEL(03)5550-2853 FAX(03)5550-0455
TEL(03)5636-5611 FAX(03)5636-5615
(ダンパック販売部の住所は、江戸川工場と同一)

営業支社・営業所・出張所

北海道営業支社

〒067-0051 北海道江別市工栄町24-1(北海道王子製袋株式会社内)
TEL(011)382-8660 FAX(011)382-8787

青森営業所

〒036-8103 青森県弘前市大字川先2-3-3
TEL(0172)27-5621 FAX(0172)27-7320

秋田営業所

〒010-0975 秋田県秋田市八橋字下八橋191-4
TEL(018)823-6257 FAX(018)862-5214

東北営業支社

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町1-6-18 東北王子不動産ビル6階
TEL(022)216-1325 FAX(022)266-5634

新潟営業所

〒950-1101 新潟県新潟市西区山田2310-31
TEL(025)234-3950 FAX(025)234-3955

関西営業支社

〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋3-3-3 南森町イシカワビル10階
TEL(06)6353-8781 FAX(06)6353-8742

九州営業所

〒800-0231 福岡県北九州市小倉南区大字朽網3914-38
TEL(093)474-0666 FAX(093)474-0660

北海道ダンパック営業所

〒069-0365 北海道岩見沢市上幌向町559-15
TEL(0126)26-2311 FAX(0126)26-4136

山形出張所

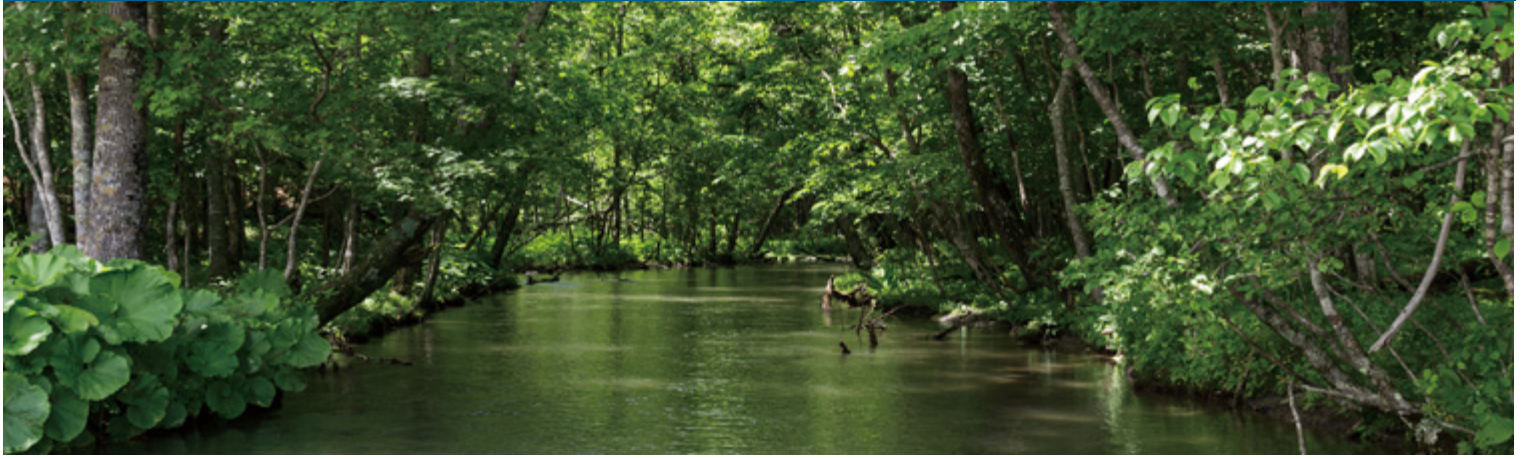
〒990-0042 山形県山形市七日町3-1-16(JA全農山形畜産部内)
TEL(023)687-8116 FAX(023)631-5451

金沢出張所

〒920-0362 石川県金沢市古府1-217(JA全農いしかわ農業管理センター2階)
TEL(090)5175-4900 FAX(076)240-6332

本社営業部(富山駐在)

〒939-1716 富山県南砺市梅原8282(中越パッケージ株式会社福光工場内)
TEL(0763)23-6183 FAX(0763)23-6185



お客さまに“高品質”と“安心・安全”をお届けするために

当社では、王子グループの一員として王子グループが定める
環境・製品安全基準に遵守した製造体制のもと、徹底した品質管理を確立しております。
お客様のベストパートナーとして皆さまに安心と満足をお届けしてまいります。

環境への取り組み

王子グループは、広く地球的視点に立って環境と調和した企業活動を展開し、
真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

製品安全

王子グループは、お客さまに安心してお使いいただける品質とサービスを提供することが
企業の社会的役割であることを深く認識し、安全な製品をお届けしています。

品質管理体制

王子製袋では、日頃から徹底した検査体制のもと、工場と本社が一丸となって品質向上に
努めております。

王子グループ環境憲章

1. 基本理念

王子グループは、広く地球的視点に立って環境と調和した企業活動を展開し、真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献する。そのため一層の環境改善に取り組むとともに、森のリサイクル、紙のリサイクル、地球温暖化対策などを積極的に推進する。

2. 行動指針

- 1 森のリサイクル推進
- 2 紙のリサイクル推進
- 3 地球温暖化対策の推進
- 4 環境改善対策・環境管理体制の強化
- 5 環境負荷の小さい本社生産本部と製品の開発
- 6 廃棄物の低減と有効利用の推進
- 7 環境対策技術の海外移転推進
- 8 ステークホルダーとの信頼関係の構築

O-EMS 認証取得

バルク輸送が普及しつつある今日でも、物流容器としての袋の重要性は変わりません。細分化された流通単位にとって、特に紙の袋はもっとも経済的で、使いやすい包装容器だからです。

日本で初めて当社がクラフト紙を重包装紙袋に採用して以来90余年、その用途は急速に拡大化され、袋の形態も多様化しています。

防湿、耐油、異物混入防止などの必要上、加工紙や合成樹脂フィルム、アルミ箔なども併用されているのです。

さらに環境問題に配慮した省資源対策や輸出向けの強度対策など、重包装のパイオニアとして長年の経験と最新の技術をもって、お客様のあらゆるニーズにお応えしています。



清掃活動

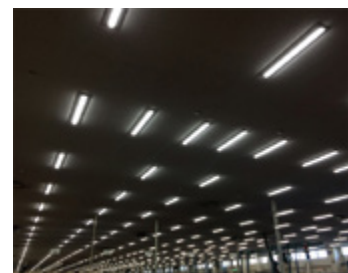
美里町内一斉清掃に参加し工場周辺の清掃活動を行い、地域と共にクリーンな環境貢献を行っております。



省電力化

弊社、埼玉工場、九州工場の照明機器をほぼ全てLED照明に取り替えました。他工場工場内の照明のLED化も推進しています。

LEDの電力消費量は蛍光灯に比べて40%~75%少なく、CO2排出量は蛍光灯の60%、寿命は蛍光灯に比べて3倍の約4万時間とされています。



王子グループ製品安全憲章

王子グループは、お客さまに安心してお使いいただける品質とサービスを提供することが企業の社会的役割であることを深く認識し、安全な製品をお届けしています。今後とも下記の項目の確実な実施によって、全員参加でお客さまの信頼に応える取り組みをします。

- 1 製品の安全性に関する法令を遵守することはもちろん、自主基準に対しても適切な管理を実施します。
- 2 全社的品質管理体制のたゆまぬ強化を基本に、安全性確認に努めます。
- 3 製品の正しい使用法や安全性に関する情報は、適時・適切に提供します。
- 4 製品事故等の情報については、積極的に収集するとともに、法令に基づき所管官庁等に報告します。また、誠意をもって必要な処置を講じるとともに、原因を究明し再発防止に努めます。
- 5 定期的な内部監査により、管理体制を継続的に見直し、改善に努めます。

使用する原材料の安全性、法規制などを厳格に審査・調査

製品安全の取り組みとして、使用する原材料の安全性、法規制、各種自主基準への対応について審査を行っています。

安全性の確認においては、使用前に王子グループ独自の「調査票」を運用し、SDSに加えて確認を行っています。

また、使用開始後も定期的に原材料サプライヤーから情報の入手を図る「情報更新制度」に基づき、継続的に安全性を確認しています。

国内外各種法令 EU RoHS指令／EU REACH規制／GADSLなど

製品安全監査を実施

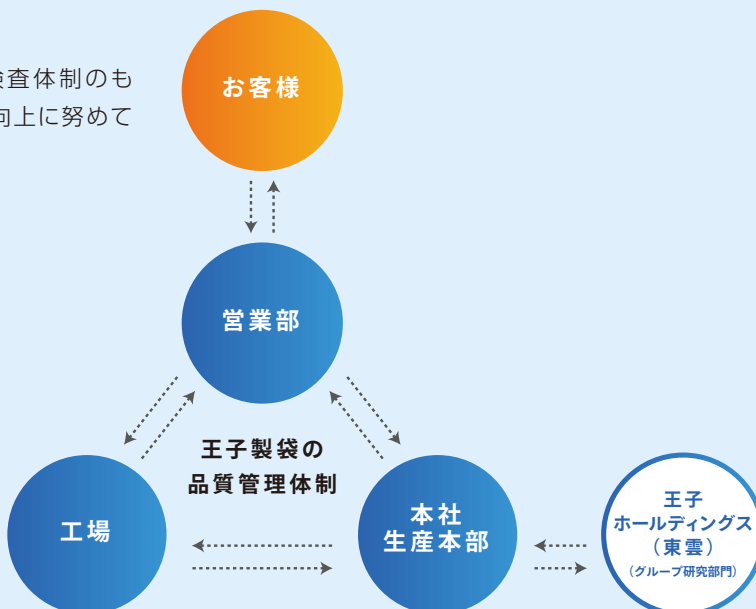
総合的に製品の安全性確保に取り組んでいます。

当社の製品においては、各業界の自主基準に則り、厳格な管理のもとで社内運用するとともに、常に運用状況を製品安全監査にて定期的に確認しています。



万が一の時でも、万全の体制で品質管理を行っています

王子製袋では、日頃から徹底した検査体制のもと、工場と本社が一丸となって品質向上に努めております。



製品の安全確認に万全を期すことともに、
製品を安定的に提供することを推進しております。

ISO9001



埼玉工場 1997年11月取得
九州工場 2004年1月取得
楠見製袋所 2000年11月取得

JIS



岩見沢工場 2012年9月取得
江戸川工場 2011年11月取得
ダンパック製品にJIS適合認証を取得しております。

王子ホールディングス(東雲)

異常が発生した場合は、王子グループの研究部門である「王子ホールディングス(東雲)」で各種分析を行い、徹底した原因究明をする体制が整っています。

